

# 環境省「令和4年度 mottECO（モッテコ） 導入モデル事業」 「mottECO」のパートナーシップによる普及推進事業

## mottECO普及推進コンソーシアム

セブン&アイ・フードシステムズ、ロイヤルホールディングス、SRSホールディングス、日本ホテル



# 事業の概要

「食品ロス削減」という大きな社会課題に対し、飲食事業者がmottECO導入と拡大を通じ、競合関係を越えたパートナーシップで取り組み、その解決を図る。

食品廃棄物排出事業者である、株式会社セブン&アイ・フードシステムズ、ロイヤルホールディングス株式会社、SRSホールディングス株式会社、日本ホテル株式会社が共同の推進主体として、

## 「 mottECO普及推進コンソーシアム 」

を立ち上げ、それぞれの運営する飲食チェーン「デニーズ」「ロイヤルホスト」「和食さと」及びホテル「東京ステーションホテル」「メズム東京 オートグラフコレクション」「メトロポリタンホテルズ」において実証を行う。

# 事業の骨子

事業は以下の4つを柱として実施する。

1. **業種業態を超えたアライアンス**によるmottECO実践店舗の拡大
2. **将来の中小・個人飲食店参加**を見据え、容器等ツールの**共同調達スキームの構築**と容器の**有料化**の検討
3. **食品ロス削減**と、同じく社会課題である**脱プラスチックを両立**させるため、FSC認証素材の食べ残し持ち帰り容器の実験を継続実施。また、より使用量の多い宅配やテイクアウト容器への応用の研究。
4. mottECO推進事業者ならでの、実践経験とデータに基づいた**啓発活動**

# 配布用注意喚起チラシ：専用容器そのものによる自己責任の啓発

食品ロス削減にご協力いただきありがとうございます。

## お持ち帰りの際の注意点

**お客様の責任**でお持ち帰りください。  
容器への移し替えはご自身でお願いします。



**※匂いや味に異変を感じた場合は召し上がらないでください。**

帰宅後できるだけ速やかに  
お召し上がりください。



生もの、傷みやすいものは  
お持ち帰りいただけません。



※スープ・ドリンク類の持ち帰りはご遠慮ください。

暑い時期や長時間の  
持ち運びはご遠慮ください。



十分に再加熱してから  
お召し上がりください。

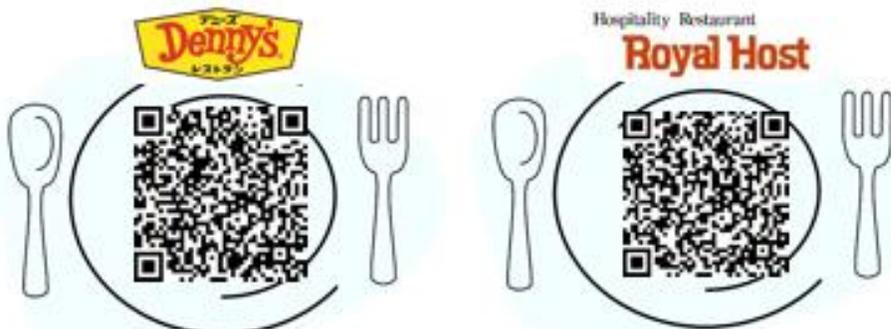
消費者庁、農林水産省、環境省、厚生労働省「飲食店等における」

この取り組みは「令和四年度mottECO  
環境省より採択され、4社6ブランド



こんにちは！mottECO(モットエコ)です  
環境省では「飲食店での食べ残しの持ち帰り」のこ  
とを「mottECO(モットエコ)」と名付けました。  
「mottECO」は、「もっとエコ」と読むと「もっ  
とエコ」のメッセージがこめられています。

## アンケートご協力をお願いします



この取り組みは「令和四年度mottECO導入モデル事業」として  
環境省より採択され、4社6ブランドで展開しております。  
食べきれなかったお料理をお持ちかえりいただいたお客様に  
Webアンケートへのご協力をお願いいたしております。

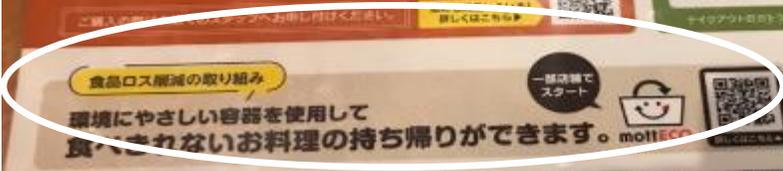


# 参加企業 取り組み例

## ・セブン&アイ・フードシステムズ（デニーズ）



ポスター以外にテーブル設置媒体や、アプリ（右）等でも告知



## ・SRSホールディングス（和食さと）



## ・ロイヤルホールディングス（ロイヤルホスト）



メニューブック上にmottECO表記



## ・日本ホテル（ホテルメトロポリタン）



# 事業開始にあたっての目標設定

## コンソーシアム数値目標

- ・mottECO実施店舗を昨年から倍増させる  
昨年126店舗 → 年度末250店舗
- ・教育機関、自治体等の組織、業界団体等で、食品ロス削減・mottECOに関する講義、研修、寄稿、展示等、実態のある啓発発信の取り組みを実施する  
年間 20件 参加人数 1,000名

## 参加企業別計画（年度当初）

- ・デニーズ **東京都内100店舗から随時拡大（年度内倍増：200店舗以上に拡大）**  
・店舗拡大に合わせて容器有料化実施（既存店も同時に変更）
- ・ロイヤルホスト **昨年実施26店舗に加え、実施店舗拡大**  
・夏期メニュー改定時、全店で拡大を視野に社内調整
- ・和食さと **6月よりテスト実施（開始より容器有料）検証後8月31日より関西圏120店舗まで拡大**  
・11月30日より全店への拡大を予定（年度内200店舗以上に拡大予定）
- ・日本ホテル **「東京ステーションホテル」「メズム東京、オートグラフ コレクション」「メトロポリタンホテルズ」**  
・6/1～9/15 夏期は計画的に休止

# 事業の成果①（定数面：実施店舗数）

## ・実施店舗拡大

年度当初目標：mottECO実施店舗を昨年から倍増させる（昨年126店舗→年度末250店舗）

10/31現在

⇒ 4社打合せを進め：4社 450店舗で実施中（当初計画比 180%）



Hospitality Restaurant



METROPOLITAN  
HOTELS  
JR-EAST

10/31現在 100店

221店

120店

9店

年度末計画 320店

221店

200店

9店

⇒ 既に当初目標達成のため、年度末目標を 750店舗に上方修正

# 事業の成果②（定数面：利用実績）

## mottECO利用状況

（コンソーシアムとしての事業期間：2022年6月～10月実績を算定基礎）

※全店実施想定 / 年換算

※事業実施前後の店舗数合わせ

ブランド名	店舗数	利用(t/年)	事業前(t/年)	廃棄物削減効果(t/年)
デニーズ	: 320 (0.8件/日/店)	28.0	7.0	21.0
ロイヤルホスト	: 221 (0.6件/日/店)	14.5	7.3	7.2
和食さと	: 200 (0.2件/日/店)	4.5	1.5	3.0
日本ホテル	: 9 (0.3/件日/店)	0.2	0.0	0.2
	750	47.2	15.8	31.4

通年（日本ホテルのみ 6/1-9/15 休止で計算）、コンソーシアム全店で実施した場合  
 4社だけで、47t 以上の食べ残し持ち帰り = 食品廃棄物削減  
 事業開始前との比較で、31.4t の廃棄物削減効果 = **事業の成果**

# 事業の成果③（定数面：有料化店舗と啓発事業）

## ・容器有料化テスト

- 和食さと : スタート時より有料で実施@50円(税込55円)
- デニーズ : 12月店舗拡大に合わせ @28円(税込30円)で実施予定
- 日本ホテル : 無料提供
- ロイヤルホスト : 有料化については検討課題と認識

## ・啓発事業

年度当初目標：年間 20件 参加人数 1,000名

SDGsオンラインフェスタ、日本ホテルSDGsセミナー（系列ホテル巡回開催上期）、福岡女学院中学校「探求の授業」登壇、JRホテルグループ総会プレゼン、専修大学商学部講義、食ロス対策有識者会議発表、そごう・西武CSV推進部プレゼン、大阪府NPODeepPeopleプレゼン、日本百貨店協会WG登壇、千代田食品衛生協会研修、都立忍岡高等学校講義等々  
(10/31現在 23回 2,037名 実施済み 年度末までに +6回 +360名 開催予定  
⇒ 年度末合計 **29回 2,397名 実施見込み**)

※日本百貨店協会でも実施など、啓発事業による波及効果あり